

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・学校評価保護者アンケートの「お子さんが本校の生徒でよかったと思いますか」では、昨年度より1ポイント増加し92%の保護者が肯定的な回答であった。学校評価生徒アンケートの「あなたは、学校が楽しいですか」では、昨年度より6ポイント増加し87%、「あなたは、学校生活の中で相談できる人(先生、スクールカウンセラーや友達など)いますか」では、昨年度より3ポイント増加し84%の生徒が、友人関係や進路・学習面など、さまざまな面で不安を抱えながらも肯定的な回答であった。このことから今年度の学校教育目標に沿った教育活動はおおむね保護者の理解を得ていると考えられ、また生徒にとっても満足できる教育活動ができたと考えられる。しかし、「学校が楽しい」と肯定的に答えていない生徒が、昨年度より減少したものの約15%いるので、調査し改善を図っていく。 ・学校評価生徒アンケート「先生方は、わかる授業に努めていると思いますか」では、昨年度より1ポイント増加し92%、学校評価保護者アンケート「学校は、わかる授業に努めていると思いますか」では、昨年度より8ポイント増加し85%であった。1、2年生の佐賀県小・中学校学習状況調査でも、10教科中7教科の正答率を下回る結果から、具体的な学力向上への取組実践が課題である。
------------------	--

2 学校教育目標	自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成
----------	-----------------------

3 本年度の重点目標	①基礎学力の定着と「主体的・対話的で深い学び」の実践に向けた授業の工夫・改善を図る。 ②道徳教育及び人権教育を推進・充実させ、心豊かな生徒の育成を図る。 ③生徒指導の三機能を充実させ、自己指導能力の育成を図る。 ④特別支援教育の推進を図る。 ⑤小学校や家庭・地域と連携した教育実践を図る。 ⑥業務の適正化を図り、教育効果を上げる。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価	
---------------	--------	--

(1) 共通評価項目				主な担当者	
重点取組			最終評価		
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)	達成度(評価)		実施結果
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。	・	学力向上コーディネーター
	○自ら学びに向かう姿勢の育成	「授業に対して意欲的に取り組めた」「自分の考えをもつことができた」に肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上。	・1時間完結型の授業を実践する。主体的な学びを促すために、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を行う。 ・生徒による授業アンケートを学期に1回実施し、授業改善を行う。	・	学力向上コーディネーター
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○全職員で道徳教育に取り組み、深い学びにつながる考え、議論する道徳の授業を実践する。 ○道徳の授業参観や公開授業を年3回以上行う。 ○自他を尊重する態度を称賛する場を多く設定する。	・人権集会や平和集会の実施 ・講師を招聘しての研究会を実施し、授業づくりについての共通理解を図る。 ・学年を中心に授業研究会を実施する。 ・褒め短歌の実践、帰りの会でのハートタイムや道徳コーナーを設定する。	・	人権・同和教育担当 道徳教育推進教員
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員95%以上 ○毎月アンケートの実施	・いじめの対応についての研修・会議を年間に2回以上行う。 ・学校生活に関するアンケートを毎月実施する。	・	生徒指導主事
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上	・職業調べ・職場体験・進学説明会など学年ごとの体験活動を踏まえて職業観や正しい進路選択の意識や態度を養い、進路学習を充実させる。 ・「キャリアパスポート」を活用し、将来の進路について考えさせる機会を設定する。	・	進路指導主事
	○教育相談の充実	○日頃の観察や毎月のアンケート、学活ノート等から、トラブルを早期に発見・把握し、適切に対応する。	・教育相談週間を年に2回設定し、全職員で生徒の相談にあたる。 ・SCやSSWと連携し、生徒の実態や担任の思いに応じた対応を行う。 ・i-check分析の研修会を実施する。	・	教育相談担当
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒95%以上 ○保護者への働きかけを行い、朝食喫食率95%以上	・生徒会給食部の活動と連携し、「食」の大切さについて考える活動を行う。 ・栄養教諭と連携を図り、各学級、年1回の食の授業を実践する。	・	食育担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・学校行事の精選 ・ICTを活用した業務の効率化	・	管理職

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者	
重点取組			最終評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	達成度(評価)		実施結果
○小・中連携教育	○小学校との連携推進	○小学校の様子や状況の理解が進んだと回答する教師80%以上	・小学校との合同の研修会の実施 ・教務、生徒指導、教育相談、特別支援教育について、小学校との情報共有の場の設定	・	校長 教頭 教務
○特別支援教育	○特別支援教育の充実	○個別の指導計画、教育支援計画を100%作成する。 ○特別支援教育に関する校内研修会を2回実施する。	・校内支援体制の強化を図り、個別の指導計画、教育支援計画に関する研修会を行い、作成する。	・	特別支援教育コーディネーター

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------